

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

グローバル・インベストメント・ビュー | 2022年12月

情報提供資料

安堵のラリー、過剰な楽観主義による行き過ぎ



米国のインフレ率が低下していることから、市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）がタカ派的なスタンスを緩めるとの観測が高まり、リスク資産に安堵感が広がりました。しかし、依然としてインフレ率は中央銀行が妥当と考える水準を上回っていることから、FRBは制約的な水準に金利をとどめるものと見ています。従って、投資家がリスクを高めるには時期尚早であると考えます。

投資の着目点



経済成長低迷の中の「債券の復活」

経済成長への懸念から、ポートフォリオの保護的役割を担う国債に対し、我々はよりポジティブな見方をしています。しかし、投資家は機敏に対応する必要があります。



バランスを維持しつつ、株式市場の格差を探る

企業業績は低調となることが予想されるものの、米国には底堅さがあるとみています。また、株式投資に前向きな姿勢をとるためには、利益率の改善や政策スタンスの変更など具体的な兆候が必要となるでしょう。一方、投資家は選択眼を維持し、クオリティ銘柄、バリュー銘柄、配当が見込まれる銘柄を組み合わせて検討する必要があると考えます。



過剰な負債を抱える企業を回避

クレジット市場におけるデフォルト（債務不履行）の見通しは、現在抑制されているように見えますが、経済環境の悪化に伴い変わる可能性があります。投資家は質の高いクレジットを選好し、バランスシート上で債務が増加傾向にある企業は回避すべきでしょう。地域的には、欧州より米国を選好し、ブラジルやアラブ首長国連邦などの新興国市場のクレジットに選別的な投資機会があるとみています。



「地政学」は引き続き世界の課題

米国の中間選挙では政権が分裂し、中国に対する強硬な政策が継続されることが予想されます。一方、ロシアのウクライナ侵攻は、欧州に対しイデオロギーの異なるパートナーへの過度な依存を再考させるものとなっています。投資家は、政府による政策が、インフレ、消費、リスク資産の投資機会に及ぼす影響を常に警戒しておく必要があると考えます。

債券を中心に据えた分散投資



企業業績への懸念、中国の新型コロナウイルス感染症関連のニュース、中央銀行の政策引き締めスタンスなどから、リスク資産に対し慎重な姿勢をとっています。しかし、株式に関しては、主に米国のバリュー株式を中心として戦略的な投資機会があるとみており、強い価格決定力を持つ企業は利益を維持できるものと考えます。ただし、このアプローチは、より幅広い分散投資と高水準のインフレに対抗できる資産によって補完する必要があります。クレジットでは、米国の質の高いクレジットや厳選された新興国債券が価値を提供するものとみています。また、ポートフォリオに米国国債のような保護的役割を担う資産を組み入れるべきと考えますが、全体として機敏なスタンスが肝要となるでしょう。

当資料のご利用に当たっての注意事項等

- ・当資料は、情報提供を目的としてアムンディ・アセットマネジメントの作成した資料をもとに、アムンディ・ジャパン株式会社が翻訳した資料であり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ・当資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会